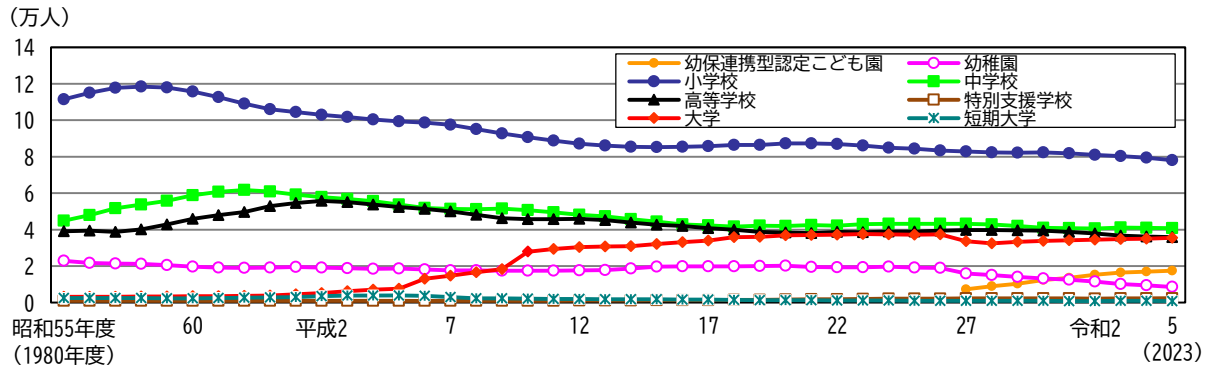


教育・文化・観光

園児・児童・生徒・学生数の推移

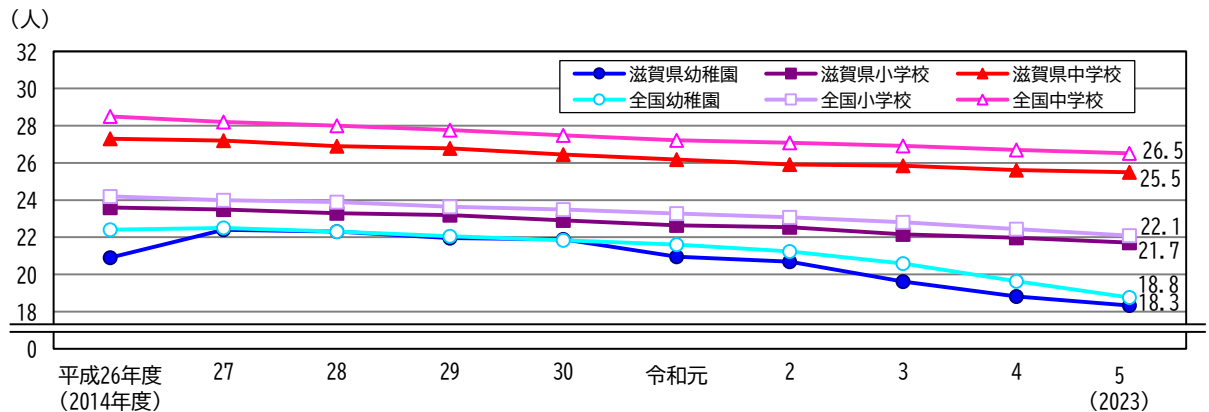
【図94】在学者数の推移



※1 高等学校生徒数は全日制・定時制在学者

「学校基本調査」 文部科学省（各年度5月1日現在）

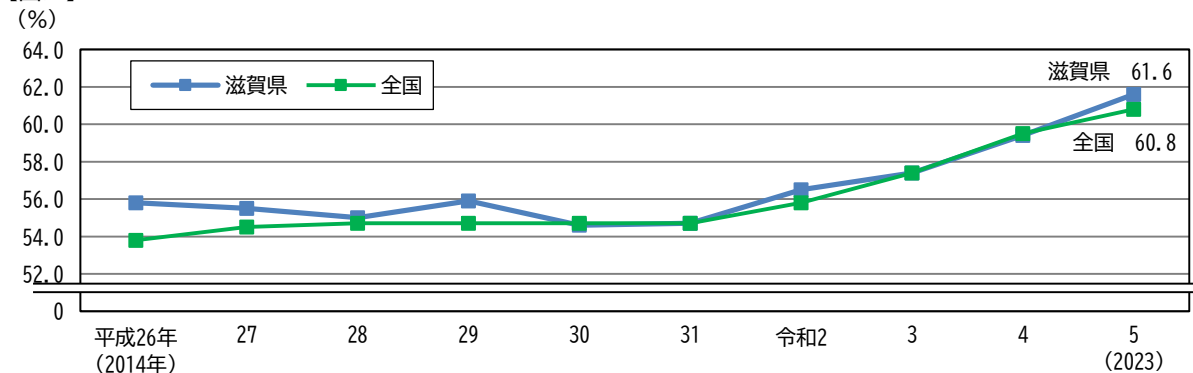
【図95】1学級当たり園児・児童・生徒数の推移



「学校基本調査」 文部科学省（各年度5月1日現在）

高等学校（全日制・定時制）卒業者の大学等への進学率の推移

【図96】

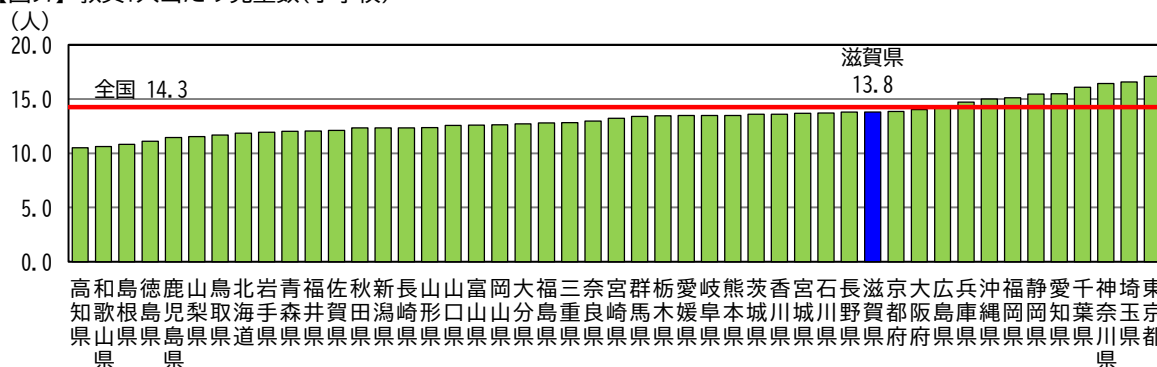


「学校基本調査」 文部科学省

- ・令和5年5月1日現在の県内教育機関の在学者数は、幼稚園8,521人、幼保連携型認定こども園17,472人、小学校78,073人、中学校40,845人、高等学校35,868人、特別支援学校2,384人、短期大学777人、大学35,565人である。(図94)
- ・滋賀県の1学級当たりの園児・児童・生徒数は、5年前と比較すると、幼稚園は3.6人、小学校は1.2人、中学校は0.9人の減少となっている。(図95)
- ・令和5年3月の高等学校の卒業生11,735人のうち、大学等への進学者は7,231人で進学率は61.6%である(全国平均60.8%)。(図96)

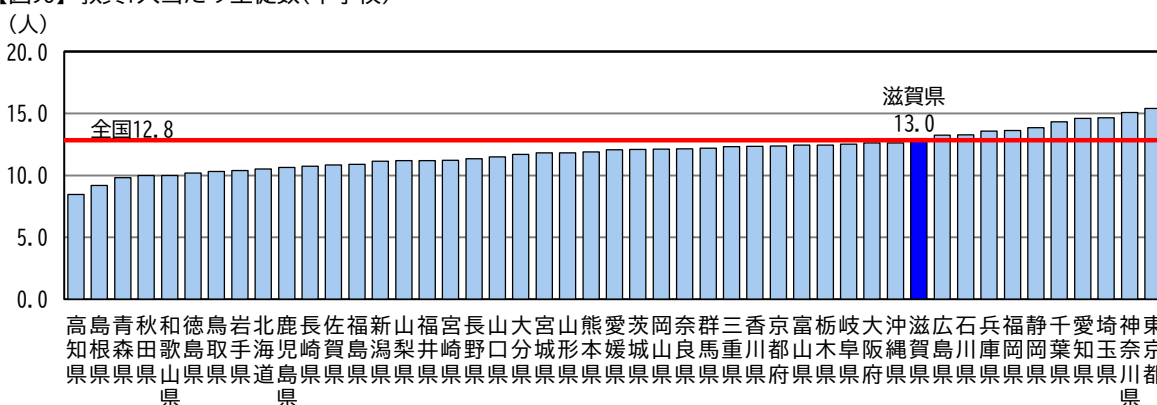
■小学校の児童数・中学校の生徒数

【図97】 教員1人当たり児童数(小学校)



「学校基本調査」 文部科学省（令和5年度）

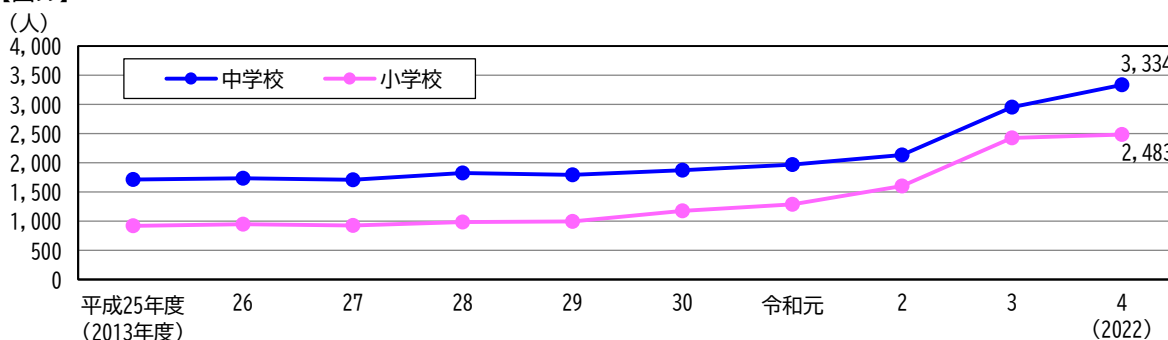
【図98】 教員1人当たり生徒数(中学校)



「学校基本調査」 文部科学省（令和5年度）

■長期欠席児童・生徒数*1の推移

【図99】



*1 病気、経済的理由、不登校、新型コロナウイルスの感染回避、その他の理由により、年度間に30日以上登校しなかった児童・生徒数

平成25、26年度 「学校基本調査」 文部科学省

平成27～令和4年度 「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」 文部科学省

くらしの数字

教育用PC1台当たりの児童生徒数

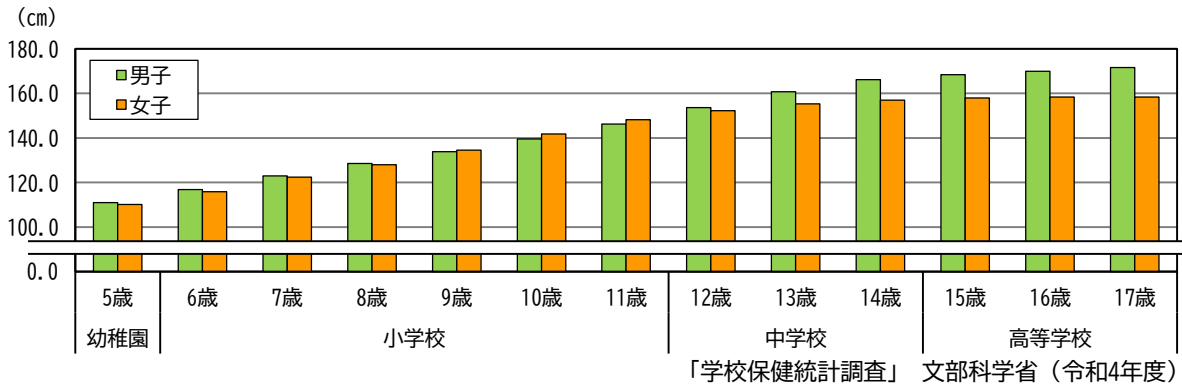
小学校 0.9人/台、中学校 0.9人/台、義務教育学校 0.7人/台、高等学校 2.7人/台、特別支援学校 0.8人/台

「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果」 文部科学省（令和4年度）

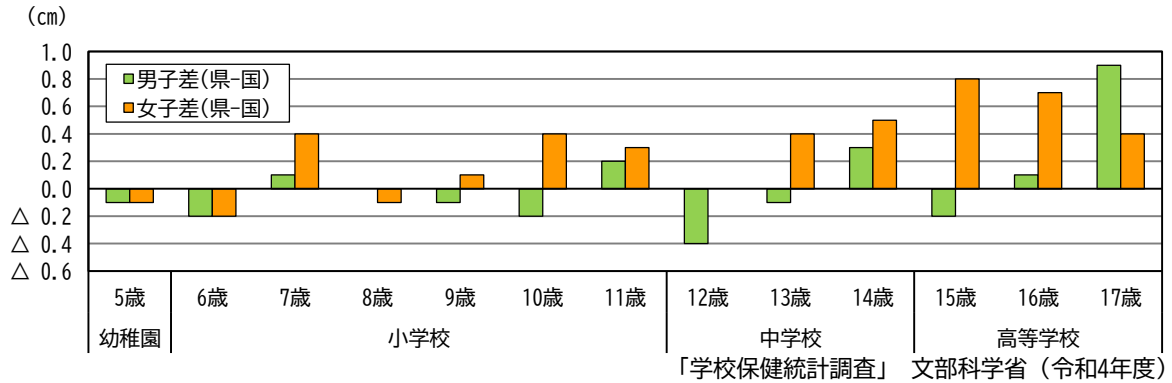
- 令和4年度の小・中学校の教員1人当たりの児童・生徒数をみると、滋賀県は小学校が13.8人で全国の少ない順から35位、中学校が13.0人で全国の少ない順から37位である。（図97）（図98）
- 令和4年度の長期欠席者（連続または断続して30日以上欠席した児童・生徒）は、小学校が2,483人、中学校が3,334人であった。（図99）

■ 幼児・児童・生徒の体格

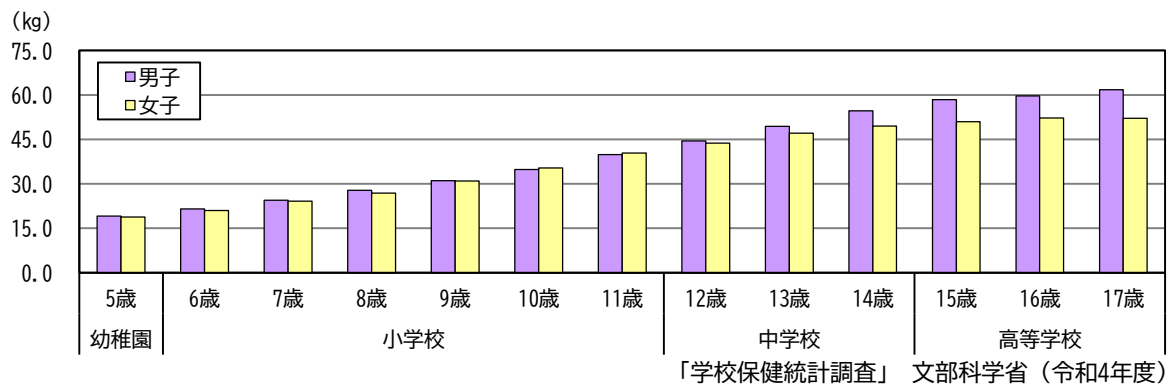
【図100】 男女別平均身長



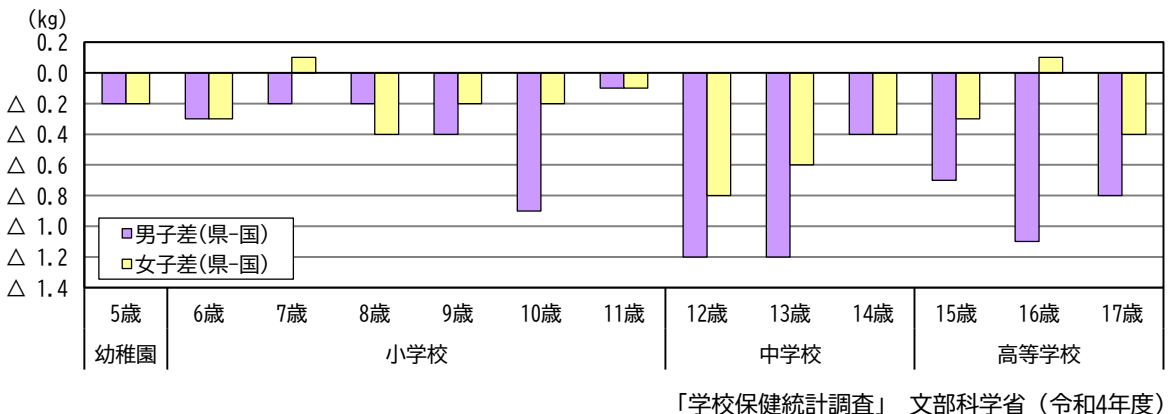
【図101】 男女別平均身長の全国値との比較



【図102】 男女別平均体重



【図103】 男女別平均体重の全国値との比較

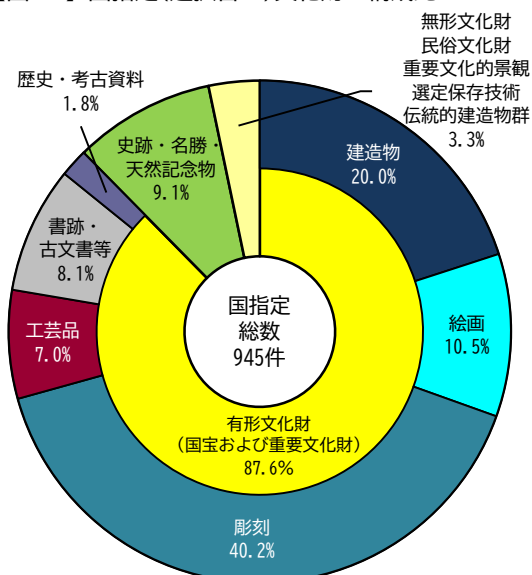


※2 学校保健統計調査の調査期間は例年4月1日から6月30日ですが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査期間が年度末まで延長されました。そのため、令和4年度の数値と過去の数値の単純比較はできません。

- ・身長は、男子は7歳、11歳、14歳、16歳および17歳で、女子は5歳、6歳、8歳および12歳を除く各年齢で、全国平均値より高くなっています。(図100)(図101)
- ・体重は、男子は全ての年齢で、女子は7歳および16歳を除く各年齢で、全国平均値より軽くなっています。(図102)(図103)

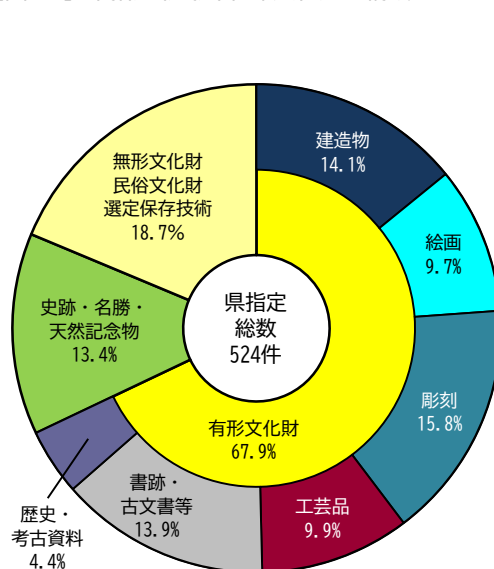
■文化財

【図106】国指定(選択含む)文化財の構成比



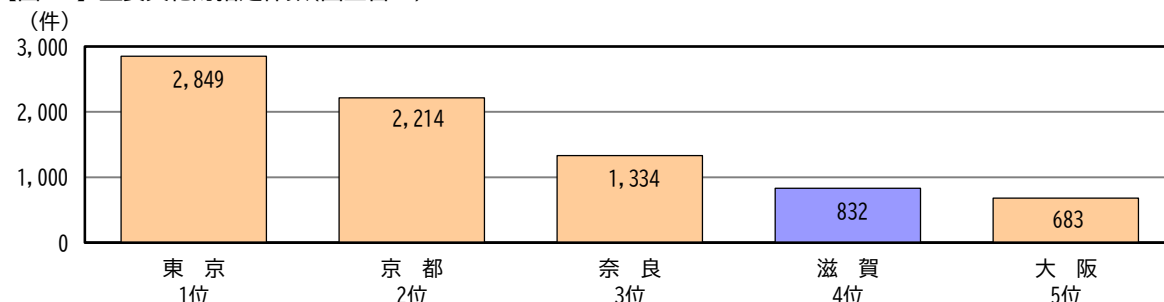
県文化財保護課(令和5年3月31日現在)

【図107】県指定(選択含む)文化財の構成比



県文化財保護課(令和5年3月31日現在)

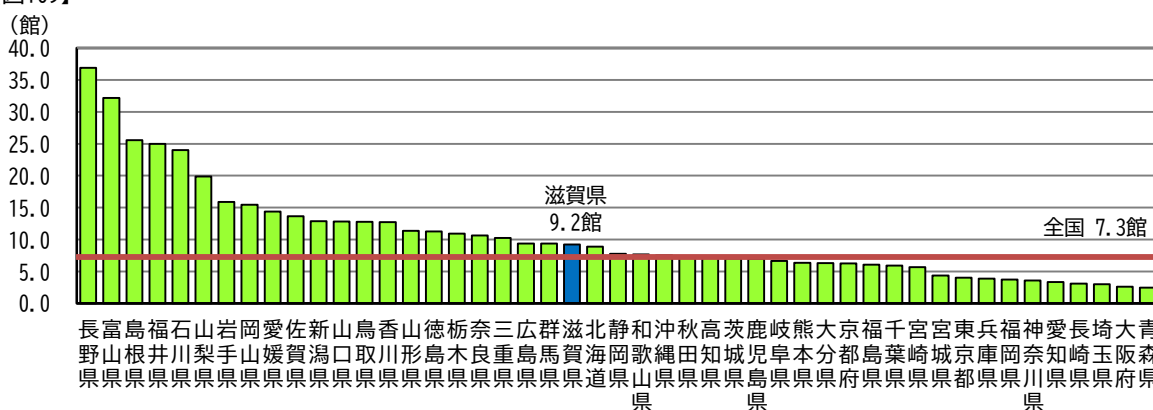
【図108】重要文化財指定件数(国宝含む)



文化庁 (令和6年2月1日現在)

■人口百万人当たりの登録博物館数

【図109】

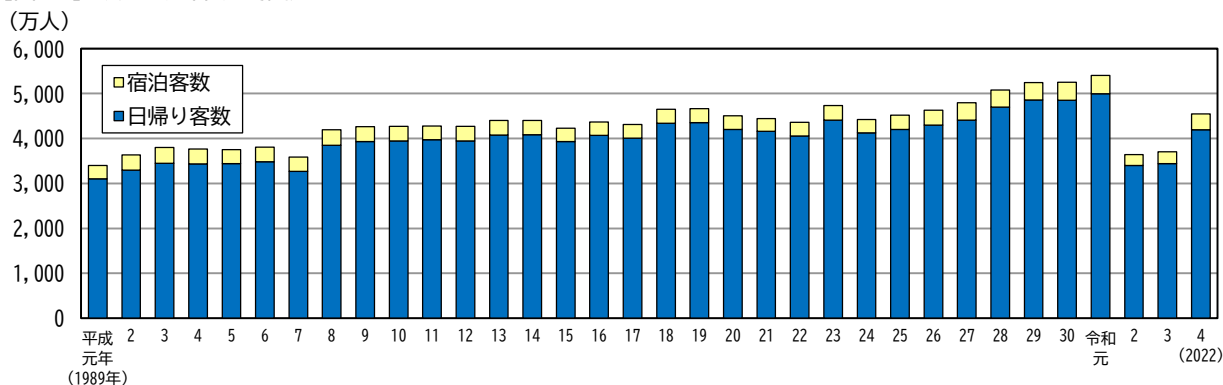


「社会教育調査」 文部科学省 (令和3年10月1日現在)
「人口推計」 総務省統計局 (令和3年10月1日現在)

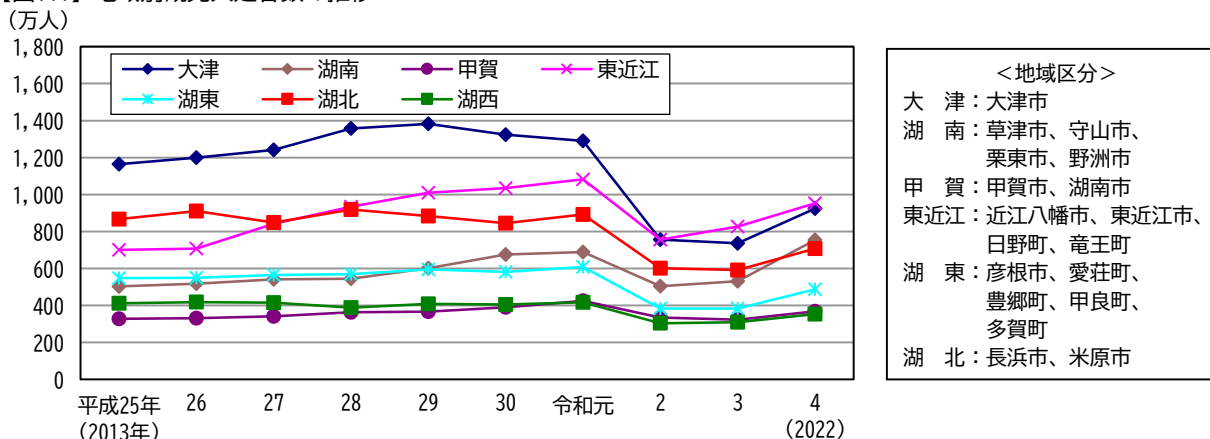
- ・令和5年3月31日現在の文化財件数は国指定(選択含む)945件、県指定(選択含む)524件である。文化財の種類では国、県指定(選択含む)ともに彫刻の占める割合が最も高い。(図106)(図107)
- ・重要文化財指定件数(国宝含む)は832件で、東京都、京都府、奈良県に次いで全国4位である。(図108)
- ・令和3年10月1日現在の人口百万人当たりの登録博物館数は9.2館で全国22位である(全国平均7.3館)。(図109)

■観光入込客数

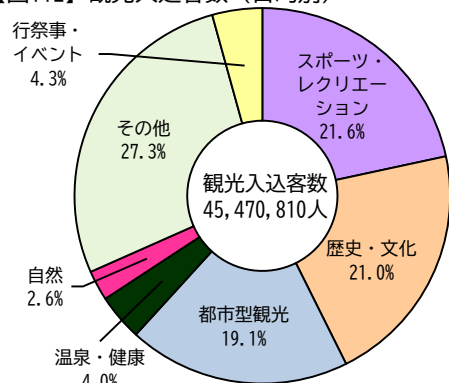
【図110】観光入込客数の推移



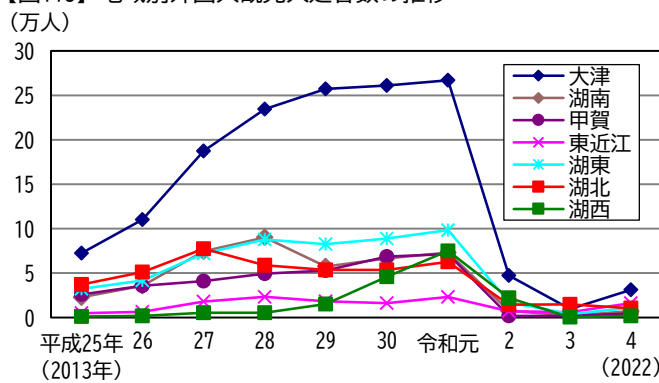
【図111】地域別観光入込客数の推移



【図112】観光入込客数（目的別）



【図113】地域別外国人観光入込客数の推移



- 令和4年の観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限が緩和されたことや、宿泊周遊キャンペーン「今こそ滋賀を旅しよう！」等の需要喚起策の継続実施により、前年の3,700万7,374人から22.9%の増加となる、4,547万810人であった。（図110）
- 令和4年の地域別観光入込客数では、全ての地域において前年よりも増加しており、特に「湖南」は新規観光施設の開業も影響し、対前年増加率が42.0%と大きかった。（図111）
- 令和4年の観光入込客数を目的別にみると、「行祭事・イベント」は、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限が緩和されたことにより各地で再開され、前年の56万3,526人から250.3%の増加となる、197万4,228人であった。（図112）
- 令和4年の外国人観光入込客数は、10月中旬から新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の入国制限が緩和されたことから、県全体では回復傾向にあった。地域別では、「大津」の観光入込客数が最も多く、3万1,315人であった。（図113）